



やまぶき

一関市立大原小学校 校報 No. 42
2026.3.6 文責：校長 松田

第3回学校運営支援協議会

2月27日(金)、今年度最後となる第3回学校運営支援協議会が開催されました。当日は各学年の授業参観が行われた後に、12月から2月までの学校の様子や成果について報告しました。また、まなびフェスタアンケートや今年度の総括及び次年度の学校運営方針について説明・協議を行いました。

協議の場では、委員の方々から一年間での子供たちの成長を認める声や、学校が安定して運営されていることへの感謝の意が寄せられました。また、学力が確実に伸びていることを誇らしく感じるとの感想もあり、先生方へのねぎらいの言葉もいただきました。さらに、人間関係やいじめについての意見もあり、そうした経験を通じて子供たちが人との関わり方を学びながら、更に成長してほしいという温かい期待が寄せられました。

全体を通じて、児童一人ひとりの成長と、学校の継続的な努力が評価される会となり、次年度に向けた課題や方向性への意識をさらに高める貴重な時間となりました。



文鎮磨き(6年)

3月5日(木)、6年生の教室に、待ちに待った文鎮が届きました。この文鎮は、鉄づくりの学習に一生懸命取り組んできた子供たちにとって、大切な成果です。手に取った子供たちは、うれしそうに文鎮を眺めながら、丁寧に磨いていました。磨くほどに少しずつ増していく輝きに、思わず笑顔がこぼれる姿も見られました。

またこの日は、一年間の学習を振り返り、「ホッパの会」の皆様へ感謝の気持ちを伝える時間にもなりました。支えていただいたことへの「ありがとう」を言葉にして届け、教室はあたたかな雰囲気になりました。この文鎮には、学びの積み重ねと人とのつながりがぎゅっと詰まっています。6年生の笑顔が、たくさんの思い出と一緒にきらりと光っていました。



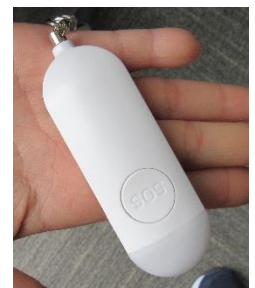
卒業式に向けて

卒業式に向けて、学校では練習が始まりました。4・5年生は合同で呼びかけや歌を練習し、6年生も呼びかけや歌、それに証書授与の練習を始めました。6年生にとっては小学校生活最後の授業。みんな、堂々と自分の成長を披露したいという気持ちを抱いています。一方で、4・5年生は、卒業生への感謝の思いがしっかり伝わるように、心を込めて頑張ってもらいたいと思います。



防犯ブザー贈呈(6年)

3月4日(水)、6年生に大原まちづくりの会のみらい福祉チームから卒業記念品として防犯ブザーが贈呈されました。この贈呈は、中学生になると通学時間が長くなったり、夜道を歩くことが多くなったりするため、登下校中の安心安全を確保するためにいただいたものです。この防犯ブザーは、子供たちの心強い支えになることと思います。



生活科たこあげ(1年)

1年生の子供たちが、生活科で作成した凧を使って校庭で凧あげを行いました。1回目よりも2回目の方がどんどん高さが増していき、子供たちは広い校庭を駆け回りながら、楽しそうに凧あげを満喫していました。自分たちの手作り凧が空高く舞い上がる様子に、喜びいっぱいの表情が見られました。

